

研究科長より 20 周年のご挨拶

立命館大学大学院言語教育情報研究科が 20 周年を迎えた年に、研究科長になりました。

私個人としては言語研に赴任したのが 2015 年 4 月ですから、振り返ることができるのは 8 年余りです。この間、大切にしてきたのは研究者同士のつながりです。立命館大学には、言語学や言語教育学の研究者が多数在職しているのですが、さまざまな学部・研究科に散らばっていて、日常的に顔を合わす機会がありません。せっかく同じ大学にいるのに勿体無いことだと思い、言語学系の研究者が集う小さな研究会を立ち上げました。確か、言語研 2 名、法学部 1 名の 3 名からのスタートだったと思います。その後、言語研の院生が加わり、文学部、情報理工学部、産業社会学部とメンバーが増えていきました。

2017 年に日本言語学会、2018 年に日本語文法学会を衣笠で開催しましたが、全国規模の学会の大会運営が円滑にできたのも、言語研に加え学内の研究仲間がサポートしてくれたからでした。言語研のこれからを考える時にも同じことが言えると思います。学部組織を持たない独立研究科である言語研が、今後 10 年、20 年と研究・教育機関としてその役割を果たしていくには、他の学部、研究科、言語教育組織との一層の連携が不可欠です。そして、何より「言語研ファミリー」である修了生の皆様とのつながりが大切です。

2024 年度からは文学部のコミュニケーション表現専攻の教員 3 名が新たに加わり、コミュニケーション分野がさらに充実します。言語研の新しい顔に期待が高まります。言語研をこれからもよろしく願いいたします。

立命館大学大学院言語教育情報研究科
研究科長 有田節子